

保健体育科における生徒の「主体性」を引き出す授業づくりに向けたリーフレット

「主体性」を引き出す授業づくりをする上での課題

【科目体育】

- 目標を明確にし、単元終了時のゴールイメージを生徒と共有できていないことが多い。また、観点別学習状況の評価の3つの観点のうち、特に科目体育における「主体的に学習に取り組む態度」とはどのようなものかについての具体的なイメージが持てていない。

【科目保健】

- 教科書の内容を教え込まないといけないという固定観念があり、学習活動が、知識を伝達することに偏重している。

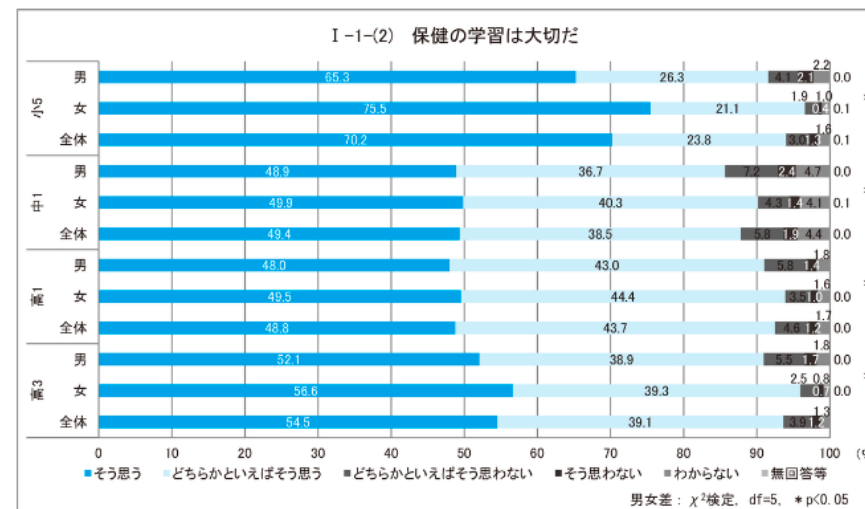
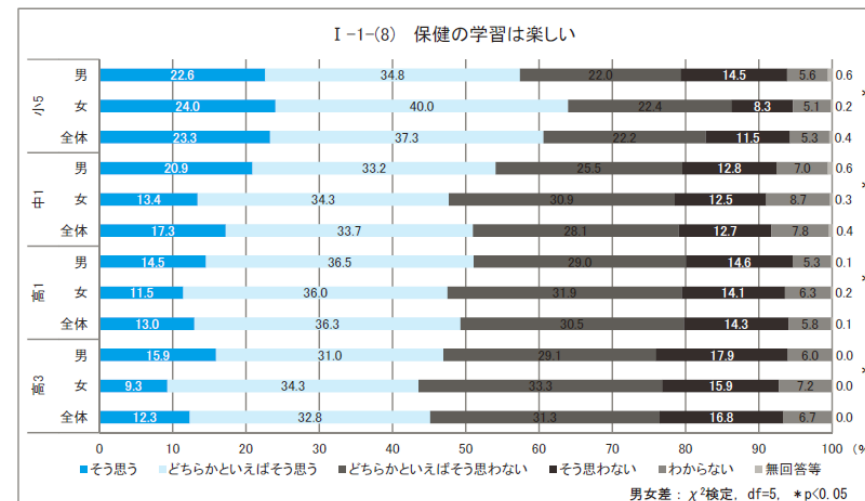
※右図では、「保健の学習は楽しい」高1 49.3% 高3 45.1%

「保健の学習は大切だ」高1 92.5% 高3 93.6%

保健の学習に関して、大切であるがあまり楽しくないと感じている生徒が多いという結果からも、学習活動の内容に課題があると考えられる。

【共通】

- 生徒の振り返りシートが、総括的評価を行うためだけの材料になっている。



保健
体育

上記課題を解決するために必要だと考えられること

【科目体育】

- 教員が目標やゴールイメージを生徒と共有するようにし、その際、知識及び技能に偏ることなく、3つの資質・能力についてどのような姿になってほしいかを伝える。そのことにより目標やゴールイメージが明確になり、生徒は、何を、どのように取り組めばよいのか、がイメージできる。また、科目体育では、「学びに向かう力、人間性等」の指導内容が、学習指導要領に示されているので、この指導内容に即した目標が達成できたかを見取ることが重要である。（右図1）

【科目保健】

- パフォーマンス課題、ワークシート等の工夫し、身につけた知識を活用したり、学習内容を自分事として捉えられたりする場面を設ける。そのことにより、これまで見られなかった生徒の変容を教員が把握することができる。

【共通】

- ワークシート等での振り返り内容の全体共有や課題の提示、振り返る際に評価規準を生徒と共有する。また、生徒が自己の変容に気付くことができるように、自己の取組みを振り返る場面を設定する。そのことにより、教員が単元を通じた指導に生かしたり、生徒が次の学びに繋がったりすることができる。（右図2）

各段階で示した「学びに向かう力、人間性等」の主な表記

| 指導事項 | 中学校1年・2年 | 中学校3年・高校入学年次 | 高校その次の年次以降 |
|---------|------------------------|--------------------------------|--------------------------|
| ア 共通事項 | 積極的に取り組もうとする | 自主的に取り組もうとする | 主体的に取り組もうとする |
| イ 公正 | 勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとする | 勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする | |
| | フェアなプレイを守ろうとする | フェアなプレイを大切にしようとする | |
| ウ 協力・責任 | よい演技を認めようとする | よい演技を讃えようとする | |
| | 仲間の学習を援助しようとする | 互いに助け合い教え合おうとする | 互いに助け合い高め合おうとする |
| | 分担した役割を果たそうとする | 自己の責任を果たそうとする | 役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとする |
| エ 参画・共生 | 話合いに参加しようとする | 話合いに貢献しようとする | 合意形成に貢献しようとする |
| | 一人一人の違いを認めようとする | 一人一人の違いを大切にしようとする | |
| オ 健康・安全 | 健康・安全に気を配る | 健康・安全を確保する | |

平成30年告示学習指導要領解説保健体育編
 体育編 P40 (図1)

IV. _____ → 真諦者も若者も障がい者もつ人もそうでない人も、地域社会のなかでともに暮らし、ともに生きていくことが普通（ノーマル）であり、そんな社会を実現していくために、社会を改善していくという意味

→この考えによって _____ や _____ が誕生

※バリアフリーの具体例：① _____ ② _____

※ユニバーサルデザインの具体例：① _____ ② _____

③ _____

ノーマライゼーションの考えが自分の生活の中でどんなところにあるか考えて書いてみよう

保 健 体 育

課題解決に向けた具体的な実践例

● 課題解決に向けて教科として取り組んだこと

(1) 保健体育科における「指導と評価の一体化」

目標やゴールイメージを生徒と共有すること、目標を達成するための学習活動を設定し、指導したことを評価していく必要がある。

令和3年度に取り組んだ、観点別学習状況の評価の試行では、「思考・判断・表現」の観点を見取るために、単元末に振り返りを行った(右図)。単元末のみの振り返りであったため、生徒の変容を明確にしていけることができなかった。

右図のような振り返りを単元の中頃に一度行うことで、取組みの工夫やアドバイスを生かした生徒の変容を見取ることに繋がり、また、教員は、生徒の振り返りシートの内容を授業に還元していくことができると考えられる。

(問)

授業で投げ技をするときに、あなたが気を付けたことは何ですか。自身が授業で工夫したことや仲間からのアドバイス、助言なども含めて自分の考えを具体的に答えてみましょう。(思・判・表)

(判断基準)

- ・ Bは自身の課題と解決法などについて書いている
- ・ AはBに加えて実際に交し合った友人とのアドバイスが入っている
- ・ 不十分はC

- ・ 単元末のみの振り返りでは、次の学習に生かすことが難しい。
- ・ 単元の中頃に行う方が有効。

【目標】

- ①柔道の基本動作や伝統的な考え方、技の名称や動きについて理解し、それぞれのポイントについて説明することができるようにする。(知識)
相手の多様な動きに応じた基本動作から、相手を崩して投げたり、連絡技を用いて投げたりすることができるようにする。(技能)
- ②生涯にわたって運動を豊かに継続していくために、自己や仲間の活動を振り返ったり話し合ったりして課題を発見し、協力し合って課題に応じた取り組み方を工夫することができるようにする。(思考力、判断力、表現力等)
- ③武道に自主的に取り組むとともに、**相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にしようとする**こと、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、自身の体力を高めようとする、健康・安全を確保することができるようにする。(学びに向かう力、人間性等)

【評価規準】

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|
| <p>(知) ①柔道の基本動作や伝統的な考え方について理解し、それぞれの動きのポイントについて、言ったり書き出したりしている。</p> <p>(技) ①相手の状態に合わせて投げることができる。</p> <p>②相手の投げ技に合わせて受け身をとることができる。</p> | <p>①自己や仲間の技術的な課題や自身の体力を高めるためにその課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。</p> <p>②相手を尊重するなどの伝統的な行動をする場面で、よりよい所作について、自己や仲間の活動を振り返っている。</p> | <p>①相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとしている。</p> <p>②健康、安全を確保している。</p> <p>③仲間と協力し合い、学ぼうとしている。</p> <p>④授業での活動や日々の記録を通して、自身が気づいたことや考えたことを、学習に活かそうとしている。</p> |

【1学期の振り返りの内容】

柔道の礼法や柔道着の着方などについて、授業中にあなたが意識していたことは何ですか？これまでの授業を振り返ってどの場面でどのように意識していたか、具体的に答えてみましょう。

科目体育における「学びに向かう力、人間性等」の「公正」に関する事項を示している。

目標とともに評価規準を生徒と共有することで、生徒のゴールイメージを具体的にすることに繋げる。

単元を通じた振り返りを行うが、評価に関しては、振り返りシートの記述内容だけでなく、単元を通じて継続指導したことで見えてきた生徒の姿を観察で見取ることも必要である。

継続指導の工夫として、柔道衣の着方について模範となる動画をGoogleクラスルームに投稿し、生徒がいつでも確認することができるようにした。生徒の振り返りシートには、「帯の結び方について、何度も友だちに聞いたり動画を確認して覚えるようにした。」という記述も見られ、生徒の単元を通じて学習する姿が見て取れた。

ポイント

目標を生徒と共有し、継続的に指導した上で、見取りを行っています。

(2) 科目保健における振り返り（シート）の活用

毎時間提出用

*自分が考えたことや取り組んだことをふりかえることができるような内容にしよう

| 日付 | 学んだこと・この時間に取り組んだこと 等 | 疑問点・要望 等 |
|----|--|----------|
| | <div data-bbox="333 311 1332 676" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>【活用の趣旨】 生徒が、毎時間の学習内容を整理したり、疑問点を挙げたりすることで、学びを次に繋げたり、深めたりするために振り返りシートを活用した。</p> <p>【活用にあたっての留意事項】 活用にあたっては、学習内容を生徒自身の実生活にどれだけ落とし込めるかを意識しながら継続指導した。</p> </div> | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

ポイント

「主体性」引き出す授業づくりにおいて、振り返りシートを必ず活用することや生徒が毎時間提出を行い、教員が毎時間評価を行うことが求められているわけではない。

生徒が自らの変容を把握し、教員がその変容を見取るための1つの手段として、振り返りシートの活用があり、そして指導と評価の計画の中で、どの場面で振り返りを行い、評価していくことが適切なのかを、各学校の実態に応じて設定する必要がある。

つまり、授業における生徒の振り返りを総括的評価のためだけの材料にするのではなく、生徒が学習内容を整理することで次の学習に繋げ、また学習内容を自分事として捉えることができるような振り返りシートの工夫や学習場面の設定が大切である。

保 健 体 育

振り返りシートへの生徒の記述

| | | |
|-----|---|---|
| 6/1 | 母親が会社で熱中症になったことがあるので、 <u>症状とかは目に見たことあるし対応できなくはないけど、ちゃんと知れて良かったです。</u> good! | いざという時に 自分にいっぺんささるの! これを考えられるよう なるう! |
| 6/8 | ー、はんの人でも使えるようになって良かったなと思いました。 <u>AEDを使う</u> <u>勇気を持てるようにします。</u> ⊙ | |

実践では、生徒が学習内容を自分事として捉えることができるように継続して指導していたこともあり、学習内容を生徒自身の生活や生徒の実体験、さらには社会に対する課題などと結び付けることができているものが見られた。

| | | |
|-----|---|---|
| 6/1 | 熱射病になった事があるその時から水筒、塩分補給を多くするようになってから熱中症を防げてよかった。再び減らす事は ← | good! 体験から予防の ことまで知り、実践 できる証だね!! |
|-----|---|---|

| | | |
|------|---|--|
| 5/26 | <u>気化熱はよく知らず、おんせむがけせむがけ</u> <u>室の温度</u> ⊙ <u>すぐこまめに行きます!</u> | |
|------|---|--|

| | | |
|-----|--|--|
| 6/9 | AEDの場所を覚えておくのは緊急の時に役に立つと思う。 <u>これらの社会に</u> <u>求められることだね!</u> good! | |
|-----|--|--|

| | | |
|-----|---|-------|
| 6/8 | AEDの場所を覚えておくのは緊急の時に役に立つと思う。 <u>勇気を持って自分にできる行動かを!</u> ← <u>大業かかされた</u> | good! |
|-----|---|-------|

生徒の学びや疑問に対して、教員がコメントを記載したり、次の授業で生徒全員に共有を行ったりすることで、生徒の学びを支援し、深めていくことに繋がった。

生徒の成果物や実践の振り返りから 考えられること

□ 指導と評価の一体化

「主体的に学習に取り組む態度」の評価は、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」を育成する過程で見取ることが考えられる。そのために、単元における指導と評価の計画を作成し、学習内容、指導内容に適した評価方法を選択するとともに、いつ、何を評価するのか、といった評価の場面を精選する必要がある。

□ 単元末の振り返りシート

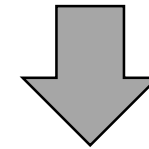
振り返りシートについては、科目保健だけでなく、科目体育においても活用されることが多い。科目体育における振り返りシートは単元末に活用されることが多く、また実施している複数の領域及び種目で、それぞれから異なった振り返りシートが配付されるため、生徒の負担、またそれを評価する教員の負担が大きくなるので、活用場面を精選する必要がある。

【目標】

武道に自主的に取り組むとともに、相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、自身の体力を高めようとする、健康・安全を確保することができるようにする。（学びに向かう力、人間性等）

【評価規準】

相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとしている。



技能を習得する場面で、相手に対する「礼」を重んじる姿勢を示している、柔道衣が乱れた際に、整えている、という姿は、「公正」に関する事項として評価することができる。

■ 今後の展望

①科目体育における共通の振り返りシートの作成

「学びに向かう力、人間性等」の指導内容について、取り扱う領域や種目で共通して指導する事項においては、共通する振り返りシートや振り返り項目を用いるなどの工夫をする。それにより、指導の一貫性や継続性を高めることに繋がると考える。そのための振り返りシートの項目を検討していく必要がある。

②科目保健におけるパフォーマンス課題の考案

生徒が学習内容を自分事として捉えていくための1つの方策として、単元の中でのパフォーマンス課題の実施が考えられるため、パフォーマンス課題の考案、実践を検討していく必要がある。

各領域で重点化して示されている指導内容（項目）

| | ①愛好的態度 | ②公正 | ③協力 | ④責任 | ⑤参画 | ⑥共生 | ⑦健康・安全 |
|----------|--------|-----|-----|-----|-----|-----|--------|
| A 体づくり運動 | ○ | | ○ | | ○ | ○ | ○ |
| B 器械運動 | ○ | | ○ | | | ○ | ○ |
| C 陸上運動 | ○ | ○ | | ○ | | ○ | ○ |
| D 水泳 | ○ | ○ | | ○ | | ○ | ○ |
| E 球技 | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ |
| F 武道 | ○ | ○ | | ○ | | ○ | ○ |
| G ダンス | ○ | | ○ | | ○ | ○ | ○ |
| H 体育理論 | ○ | | | | | | |

「主体的に学習に取り組む態度」の評価【学びに向かう力、人間性等の育成】